

被災地における活動報告(第7次)

日本下水道協会は発災後から平成23年4月28日までの45日間に延べ106人を現地に派遣し支援活動を行った。

平成23年4月21日(木)～28日(木)



新地浄化センター



管理棟の被災状況



管理棟から見る被災状況



近隣の駅舎が流された線路

相馬市下水処理場



津波は川側から襲ってきた

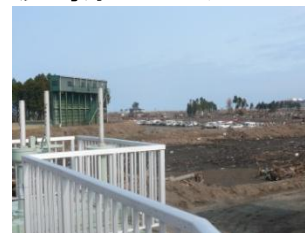


管理棟周辺の地盤沈下



地盤沈下状況

鹿島浄化センター



センター海側にある野球場方向



受電設備は生きており
主要な機器は動く



沈殿及び固形塩素による簡易
処理



岩手県の応急復旧状況等

釜石市の水管橋復旧

陸前高田市の仮設処理

釜石市の水管橋復旧

大平下水処理場に通じる甲子川を渡る水管橋の応急復旧状況



津波により抜け落ちた配管



鋼管により応急復旧



橋の歩道部に転がし配管

陸前高田市の仮設処理

陸前高田浄化センターは機能停止しており、避難所及び被害を受けていない地域の汚水処理のため仮設処理を実施



道路上のマンホールよりポンプアップ取水



道路に面して処理用地確保



処理施設の明確化



膜処理ユニット状況



施設規模約400m³/日



運転は4月25日より開始



東北地方太平洋沖地震下水道現地復旧支援本部

場所： 国土交通省東北地方整備局内
 仙台市青葉区二日町9番15号

発災後から4月28日迄国土交通省と連携しながら現地復旧支援本部に常駐した



国土交通省東北地方整備局



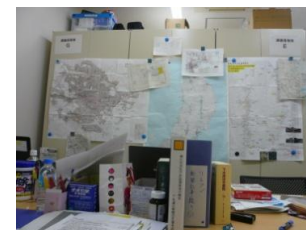
整備局の正面玄関



下水道現地復旧支援本部入口



現地復旧支援本部の様子
 最大8人が作業可能



現地復旧支援本部の様子



本部内ホワイトボード